



5月30日、熊野第3小学校4年生約50人を対象に、熊野町公衛協が脱温暖化の出前講座を実施しました。講師は、地球温暖化防止活動推進員である熊野町公衛協会長の村田洋子さんです。

授業内容は、地球温  
暖化に関する学習と私  
たちに出来ることを  
ゲーム感覚で学ぶもの  
で、当協会主催の平成  
28年度専門研修企画づ  
くり「ース」で企画した  
ものが実施されました。  
地球温暖化に関する  
学習では、温暖化が進  
むと私たちの生活にど  
うな影響が出るのか  
をクイズ形式で学びま  
した。また、私たちに  
できることについて、「正  
しいごみの分別」を  
ゲームを通して学習し  
てもらいました。

分別ゲームは、環境  
貸し出しグッズを参考  
に「ごみカード」を作成  
し、町の分別ルールに  
従って、可燃ごみとリサ  
イクルに分けるという  
方法で実施しました。

## 貸し出しグッズを改良して教材へ ゲームで私に出来ることを確認

公衛協  
ア・ラ・モード  
③ 熊野町

企画づくり研修の様子



クイズを交えて地球温暖化を伝える村田保健部長(上)、公衛協が作成したごみカードを相談しながら分別する児童(下)

授業後の最後に、「ご  
みの分別がはつきり分  
かります。」「地球温暖化  
を燃やすために使う油  
の量を減らせます。」な  
ど、ごみ出しのポイント  
も伝えました。

「私たちの生活でCO<sub>2</sub>を  
減らし、良い環境を残し  
たい」など児童が発想

も発表しました。

授業内容は、地球温  
暖化に関する学習と私  
たちに出来ることを  
ゲーム感覚で学ぶもの  
で、当協会主催の平成  
28年度専門研修企画づ  
くり「ース」で企画した  
ものが実施されました。  
地球温暖化に関する  
学習では、温暖化が進  
むと私たちの生活にど  
うな影響が出るのか  
をクイズ形式で学びま  
した。また、私たちに  
できることについて、「正  
しいごみの分別」を  
ゲームを通して学習し  
てもらいました。

答え合わせでは、「ご  
み」がどのように温暖化  
に結びつかを意識し  
ました。「生ごみはしつ  
かり水を切つて出して  
ください。焼却場でごみ  
を燃やすために使う油  
の量を減らせます。」な  
ど、ごみ出しのポイント  
も伝えました。

授業内容は、地球温  
暖化に関する学習と私  
たちに出来ることを  
ゲーム感覚で学ぶもの  
で、当協会主催の平成  
28年度専門研修企画づ  
くり「ース」で企画した  
ものが実施されました。  
地球温暖化に関する  
学習では、温暖化が進  
むと私たちの生活にど  
うな影響が出るのか  
をクイズ形式で学びま  
した。また、私たちに  
できることについて、「正  
しいごみの分別」を  
ゲームを通して学習し  
てもらいました。

続・一步先行く衛生管理  
広島県  
食品自主衛生管理  
認証マーク

広島県内の高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物は、計画的処理完了期限を平成31年3月31日として処理が進められていきました。しかし、平成28年6月に「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」が改正され、平成30年3月31日までを処分期間として、この期間中に指定の処理施設に処分委託しなければ、事実上処分することができなくなりました。

ポリ塩化ビフェニル(以下PCBといふ)は、化学的安定性、不燃性、絶縁性などに優れているという特性から、「夢の油」と呼ばれ、変圧器やコンデンサをはじめ、幅広く工業製品などに使用されています。このため、電気機器を適正に処理できず、その所有者が保管するしかありませんでした。

2004(平成21)年から無害化処理が始まりました。PCBを含む電気機器を処理するには、使用されているPCBの濃度を明らかにしなければなりません。PCBの濃度は、電気機器の銘板から調べることができます。銘板の紛失や劣化などで情報が不足している場合や、電気機器内部の油を交換している場合は、濃度を測定しなければなりません。

## PCB廃棄物の処理 迅速分析で処理を円滑に

環保協の  
環境生活  
センター  
④ 環境分析課

環境生活センター環境分析課では、電気機器内部の油に含まれるPCBを、迅速かつ正確に分析ができる体制を整備し、これから佳境を迎える高濃度PCB廃棄物の円滑な処理に貢献していきます。



トランスの絶縁油を採取(左)、PCBの濃度測定を容易にするため、検査を妨害する物質を取り除く(右)。

短い時間でしたが大  
変にぎわい、多くの学び  
がある学習会となりま  
した。引き続き、世代を  
超えて地域で取り組む  
脱温暖化活動に期待し  
ます。

■業務内容  
生カキやカキの冷凍  
加工食品、イワシの冷凍  
加工品などの製造販売  
を行っています。

■認証取得のきっかけ  
カキ加工食品(冷凍)  
と取り組み

製造業の認証取得は県  
内初の事例となりま  
す。冷凍加工品はチル  
ドのカキ製品と異なり、  
加工工程や使用する原  
材料が増えるため、よ  
り衛生管理が重要に  
なってきます。もとも

ちろん、入荷から出荷ま  
で、なるべく製造ライン  
が交差しないように工  
夫し、衛生管理を行いや  
すくしています。

■今後のステップアップ  
設定した衛生管理を  
継続して履行していく  
ことはもちろん、広島の  
名産「カキ」を世界の  
お届けいたします。

記者・馬場田

## 株式会社川廣



認証日:平成29年4月11日  
所在地:大竹市港町2-5-10  
創業:昭和61年9月  
話し手:冷凍部門統括  
川根亮様

と、衛生管理に力を入れていたのですが、工場の移転、設備の一新に合わせて、第3者の視点を入れて衛生管理を見直そうと認証取得を計画しました。

従業員への教育はも

と、衛生管理に力を入れていたのですが、工場の移転、設備の一新に合わせて、第3者の視点を入れて衛生管理を見直そうと認証取得を計画しました。

従業員への教育はも